

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) シャープタカヤ電子工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒719-0301 岡山県浅口郡里庄町里見3121-1	
本票作成	部署名： 施設部 施設課				
主たる業種	分類コード	28	業種名： 電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業の概要	半導体、電子部品、電気電子機械器具及びその応用製品の開発・設計・製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	シャープタカヤ電子工業株式会社(本社)		岡山県浅口郡里庄町里見3121-1	
	②	シャープタカヤ電子工業株式会社(開発技術センター)		岡山県小田郡矢掛町東三成805-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度(令和 元 年度)			目標年度(令和 6 年度)					
	17,054 t CO <sub>2</sub>			16,201 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度(令和 元 年度)の排出量					
	①	シャープタカヤ電子工業株式会社(本社)		16,635 t CO <sub>2</sub>					
	②	シャープタカヤ電子工業株式会社(開発技術センター)		418 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産室(クリーンルーム)床面積		基準年度	目標年度
			1,094 t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )	1,039 t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

高効率機器の導入や更新を中心に、省エネ法に基づき年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ法に基づく管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備。</li> <li>・ISO14001の管理体制のもと、省エネ活動を推進。</li> </ul>
--

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
本社工場 矢掛工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具（居室や生産室）をLEDタイプへ更新</li> <li>・冷水ポンプのインバーター化</li> <li>・空調機のインバーター化および高効率機器へ更新</li> <li>・真空ポンプ、エアーコンプレッサーのインバーター制御化</li> <li>・生産工程の集約によるクリーンルーム縮小、および閉鎖</li> <li>・操業に応じてクリーンルームの風量を調整削減</li> <li>・高効率冷凍機へ更新</li> <li>・配電トランスを高効率機器へ更新および統廃合</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
本社工場 矢掛工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具をLED照明器具へ更新</li> <li>・配電トランスを高効率機器へ更新</li> <li>・配電トランスの統廃合</li> <li>・エアーコンプレッサーの高効率機器へ更新</li> <li>・エアコンの省エネ機器へ更新</li> <li>・冷却水ポンプのインバーター化</li> <li>・生産工程の集約によるクリーンルーム縮小、又は閉鎖</li> <li>・夜間操業に応じてクリーンルームの風量ダウンによる電力削減</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--